



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY



第16回例会(11月13日)  
令和2年11月20日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 川徳デパート内  
TEL 019 (651) 1111(代)  
例会場 同上  
例会日 毎週金曜日12時30分～  
https://www.morioka-rc.jp/

会長 米内 正  
幹事 大平 騰一  
会報 佐藤 仁志  
クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682  
FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ Rotary Opens Opportunities:ロータリーは機会の扉を開く…ホルガー・クナーク  
盛岡RC会長テーマ 奉仕の輪を拡げ困難を乗り越えよう 米内 正



新入会員卓話

## 電材流通の責務に徹して ～おかげさまで75周年～

㈱岩電 常務取締役

佐々木和俊 君

### 当社概要

当社は昭和20年9月に創業者齋藤亀男が起業して以来、電設資材卸販売と盤製作を主たる事業として東北地域に根ざした事業展開を継続し、今年で創業から75周年となりました。

現在、社会は大きく変化し、電気業界にも様々なエネルギーや環境にかかわる役割が求められています。当社も電気設備機器販売業にとどまらず、エネルギー関連企業のトータルシステムとサービスの提供企業として日々成長を続けております。

### 当社創業者・齋藤亀男について

#### 岩手の電気工事業界とともに歩んだ生涯

大正4年、北上市生まれ。昭和7年、北上の黒沢尻中学校から東京物理専門学校師範科に入学。当時の景気は沈滞気味で、途中で電気材料を扱う及川商店に就職。2年後の23歳の時に兵役となり、近衛兵から海軍関係の研修生の道を歩み、そして終戦。混乱の中を生き抜きました。

昭和20年9月。食料品・衣料品は配給制。働く場所、住む場所もない。街には人があふれ、不足する食料を求め、餓死する人さえ出るありさま。食料品を作り、商品売りたい。灯りを求め、電力を求めるが、電線、電球、電気材料がない。仕入さえ出来れば、儲かるのは当然の状況です。若いころ勤めた及川商店を頼りに、盛岡で商売を始めました。

「商売のコツは、売れるものを安く仕入れて、お客に喜ばれて高く売ることだ。」持ち前の才覚で様々な工夫で混乱期に材料を仕入れ、電気屋さんへ販売いたしました。

終戦後から10数年、昭和40年代になると世の中は著しく変化し、商売も変化します。

「単純に照明器具や配線器具、電線を売るだけでなく、電気資材を活用して、商品を製作し、電気工事屋さんへ提供しよう。」昭和40年には、い

ち早く配電盤事業部を立ち上げ、49年には当時の都南村に加工工場を設立。昭和52年にはインターマック事業部を立ち上げ、新商品として、電光スコアボード、自動制御盤、ホテル監視システムの製作と新しい事業にも果敢に挑戦しました。

すべてが成功したわけではなかったが、新しいものに挑戦する姿は、現在の当社の教えの中に脈々と生きています。

### Z旗について

当社は日章旗、社旗、Z旗を毎朝掲揚しておりますが、このZ旗も創業者が海軍関係の研修生をしていたことに由来しております。日露戦争の日本海海戦のように、日々の営業活動を絶対に負けない勝負との気持ちで行い、「勝利」を祈願してZ旗を掲げることが伝統となり現在も続いております。

### 2代目社長・齋藤健一について

#### 創業者の岩電スピリッツを次代に伝える

先代から引き継いだ会社経営の神髄を最も知りうる経営者として、県内外の営業所の充実、桐源会の設立、新年会の開催、電設展示会の継続発展等、現在も続く当社の伝統、発展の基盤を築きました。

#### 創業者の岩電スピリッツを引き継ぎ発展させる～未来へ向けて

当社がメイン商材として扱う電設資材は普段気がつかないところで社会を支える縁の下の力持ちとして、住宅はもちろんのこと、ビル、工場、学校、病院等社会のあらゆる場面で人々の暮らしに深く関わっております。当社では、大きいものではキュービクルや太陽光発電システム、小さいものではコンセント、ねじ、ビス類に至るまで大小様々な商品を販売しております。仕入取引先は1,000社以上で、扱う商品は多岐にわたります。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では当社の当時の沿岸部の宮古、釜石営業所は直接的に

は被害を免れましたが、震災によりしばらくの間、仕入先からの商品供給が滞り、商品の仕入れが難しい状況となりました。その状況の中でも当社は創業者齋藤亀男の言葉「電材流通の責務に徹して」いち早く被災地の御客様へ乾電池等の支援物資を送り、その後の仮設住宅の建設、復興需要の中で電設資材を数多く供給し、被災地の復興に微力ながら貢献できたと自負しております。

当社には未来に向けて引き継ぐべき大きな伝統が二つあります。

一つ目が、電設展示会です。最新の電設資材を一堂に集めて、春と秋の年に2回、電気関係者に展示しております。電設展示会は現在、当社にとって最大の行事となっており、近年では2日間2,500名を超える方に来場していただいております。今後もお客様に支持される展示会を第一とし、お客様にとっても重要なイベントとなるよう、新しい仕組みや試みを積極的に取り入れ、改革や進歩の努力をしていきます。

二つ目が桐源会です。お得意先様と交流を深める目的で二代目社長齋藤健一が設立したもので、今年で設立から27年、会員数82社となっております。長い間様々な行事を通じてお得意先様と交流を続けて参りました。桐源会は当社にとって、お得意先様とのかけがえのない絆であり財産となっております。

今後もこの二つの伝統は当社にしかないアイデンティティ（個性）として大切に継続していきたいと思います。

当社は平成29年12月に経済産業省より地域未来牽引企業に選定されました。次の創業80周年、そしてその先の100年企業を目指し、今年からの25年間を「第二の創業」の時期ととらえ、「チャレンジ&チェンジ」をキャッチフレーズに、新なるものへの挑戦を続け、地域経済を牽引する企業として今後もお客様と地域社会に貢献して参りたいと考えております。

例会報告

第16回例会  
令和2年11月13日(金)

- 12時30分 開会点鐘
- ・司会 米内正会長
- ・ロータリーソング（我らの生業）
- ・四つのテスト斉唱
- ・会長報告 米内正会長
- ・新入会員紹介  
三浦義孝会員  
（みうら小児科医院 院長）  
三沢直樹会員  
（鹿島建設㈱東北支店 盛岡営業所 所長）

- ・入会祝 熊谷祐三・伴 亨君
- ・結婚祝 齋藤和好・平井滋・佐藤重昭君
- ・幹事報告 大平騰一幹事
- ・委員会報告

【ニコニコBOX】

- ◆長野隆行君…三浦先生のご入会を心から歓迎いたします。先生とは医師会活動で何年か一緒でしたが、その発言力と行動力にはいつも感心しておりました。当クラブでのご活躍も期待しております。
- ◆西島光茂君…三浦義孝先生の入会を心から喜んでおります。ロータリーの活動での活躍を期待します。
- ◆近藤駿君…三浦先生の入会を歓迎い

たします。永年懸案となっていた所、やっとやっと入会して下さいました。それも多くのクラブから勧誘があったでしょうが、我が盛岡クラブに入会してくれて感謝いたします。西島会員ご苦労さまでした。また一つ嬉しい事が増えましたことにニコニコします。

- ◆米内正君…「電材流通の責務に徹して」のテーマで佐々木和俊さんから卓話をいただきました。「株式会社岩電」創業者、齋藤亀男氏が地元の企業に電材の供給を続け企業の発展に寄与されたことをお聞きしました。因みにご子息の健一氏は私と高校の同級生です。本日は貴重なお話を伺い感謝してニコニコします。

出席報告 | 会員数/78名 | 出席数/45名 | 出席率/59.2% | 前々回/特別休会

●本号編集担当/伴 亨